

みずほCustomer Desk Report 2019/11/01 号 (As of 2019/10/31)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.87 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.80	1.1153	121.35	1.2907	0.6899
SYD-NY High	108.91	1.1175	121.46	1.2975	0.6929
SYD-NY Low	107.92	1.1132	120.30	1.2901	0.6884
NY 5:00 PM	108.02	1.1151	120.42	1.2939	0.6895
NY DOW	27,046.23	▲ 140.46	日本2年債	-0.24	▲ 2.00bp
NASDAQ	8,292.36	▲ 11.61	日本10年債	-0.14	▲ 2.00bp
S&P	3,037.56	▲ 9.21	米国2年債	1.5239	▲ 7.67bp
日経平均	22,927.04	83.92	米国5年債	1.5171	▲ 8.98bp
TOPIX	1,667.01	1.11	米国10年債	1.6867	▲ 8.75bp
シカゴ日経先物	22,730.00	▲ 210	独10年債	-0.4065	▲ 5.00bp
ロンドンFT	7,248.38	▲ 82.40	英10年債	0.6285	▲ 5.45bp
DAX	12,866.79	▲ 43.44	豪10年債	1.1400	0.70bp
ハンセン指数	26,906.72	239.01	USDJPY 1M Vol	5.38	0.33%
上海総合	2,929.06	▲ 10.26	USDJPY 3M Vol	5.88	0.28%
NY金	1,514.80	18.10	USDJPY 6M Vol	6.35	0.23%
WTI	54.18	▲ 0.88	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	176.89	▲ 1.42	EURJPY 3M Vol	6.48	0.25%
ドルインデックス	97.35	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	6.76	0.11%

東京	東京時間のドル円は108.80レベルでオープン。公示までは108.80 付近を推移していたが、中国の10月製造業/非製造業PMIが弱い内容だったことを受けて、中国政府の景気対策が後手に回っているとの懸念が浮上し、日経平均株価が上げ幅を縮小するとドル円もじりじりと108.59まで下落。一旦108.70台を回復するも、日銀金融政策決定会合で警戒されていたマイナス金利の深掘りが見送られたことで、再び108.60付近に下落。その後は動意に欠いて108.68レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.68レベルでオープン。朝方「中国側がトランプ政権との長期的な通商合意に懐疑的」とのヘッドラインに樂觀ムードが割がれリスクオフの円買いに。一時108.10まで売られ108.18レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2920レベルでオープン。12月選挙に向けて各党がキャンペーンを開始する中で、期待感からポンドは堅調に推移。1.2966まで買われ、1.2962レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は108.18レベルでNYオープン。朝方は108.32まで上昇する場面もあったが、米10月シカゴPMIが予想以上に弱い結果だったことから、米金利の低下や米株の下落とともに108.05まで売られる。午後は買い戻しの材料が見当たらないほか、米中貿易協議への不透明感が意識される中、107.92まで下値を広げる。その後、小幅に値を戻し108円台を回復するが、上値重い推移が続き、108.02レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルはFOMC発表後のドル売りの流れを引き継ぎ、一時1.1175まで上昇するが、先述の米中貿易協議を巡るヘッドラインを受けて下落するユーロ円に連れ安となり、反落する。早朝発表のユーロ圏第3四半期GDP速報値が予想を上回ったものの、ユーロドルの反応は鈍く、1.1152レベルでNYオープン。朝方は1.1164まで上昇するが、米株が大幅安となりリスクオフの円買いが強まる中、ユーロ円の下落に連れ安となり1.1132まで反落。午後は1.1150辺りまで値を戻すが、明日に米雇用統計発表を控え、様子見ムードが広がり、小動きとなり1.1151レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:木村・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

市場営業部 為替営業第二チーム

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
10月31日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	10月 49.3/52.8	49.8/53.6
	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%	-0.1%
	15:30	日 黒田日銀総裁 「必要ならマイナス金利の深掘りは可能」		
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	3Q 0.1%/1.1%	0.1%/1.1%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	9月 0.3%/0.2%	0.3%/0.3%
	21:30	米 PCEコアデフレーター (前月比/前年比)	9月 0.0%/1.3%	0.0%/1.4%

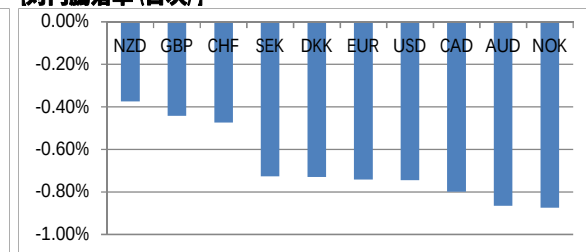
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	10:45	中 Caixin製造業PMI	10月 51.0	51.4
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 85k	136k
	21:30	米 失業率	10月 3.6%	3.5%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	10月 0.3%/3.0%	0.0%/2.9%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 48.9	47.8
	23:00	米 建設支出(前月比)	10月 0.2%	0.1%
11月2日	02:00	米 クラリダFRB副議長講演		

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[マーケットインプレッション] リスクオフムードからの脱却?

10月を振り返ると、月初に発表された米国の経済指標が冴えない中で米国の対中追加関税や英国のEU離脱の期限が迫り、当初、市場参加者は警戒感を強めていた。しかしながら結果的には、警戒したような事態は起こることなく、米中貿易摩擦に関しては米国が10月中に予定していた中国への追加関税発動を見送り、またブレグジットについてもEUによる離脱期限の延長により、「合意なき離脱」の最悪のシナリオから遠ざかった。これらを受けて市場参加者が探り探りでリスク選好姿勢に切り替えていった結果、S&P500は月末に市場最高値を更新する一方、安全資産である米国債券は徐々に売られて長期金利も上昇した。加えて、米国経済が堅調に推移する中、FRBは10/30のFOMCで更なる利下げを実施し、金融緩和により景気を後押しした。これから年末にかけての米国のクリスマス商戦は、FRBの緩和的な金融政策により好調になる可能性が高く、経済ファンダメンタルを見る限りでは当面リスクオフムードにはなり難いと考えられる。従ってドル円もこじっかりの展開を予想するが、米中通商協議もブレグジットも完全決着したわけではなく、リスクは残っている状態である。楽観ムードでポジションが偏っている時ほど、突然のハプニングの際に振れ幅も大きくなりやすい。堅調な相場展開に油断せず、想定外のリスクにはしっかりと備えておきたい。(木村)

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5